

平成28年度 動物研究室 学会発表一覧

	発表学会等	開催日時	演題(発表様式)	要旨	演者(※:筆頭演者)
1	4th International Whale Shark Conference	2016年5月16 ~18日	Body measurements and size estimation of whale sharks in Okinawa Churaumi Aquarium	ジンベエザメの全長と胴周りの計測の方法を紹介し、全長を特定部位の計測値を用いて推定するのに必要な関係式を報告した。	※Matsumoto, R. Sato, K.
2			Long-term husbandry and physical observation of the whale sharks in Okinawa Churaumi Aquarium	ジンベエザメの成熟に関する長期モニタリングについて。	※Sato, K, Matsumoto, R. Murakumo, K. Asahina, K.
3	8th International Symposium on Fish Endocrinology	2016年6月28日 ~7月2日	Changes in expression of sex differentiation-related genes during sex change in the protogynous wrasse, <i>Halichoeres trimaculatus</i>	雌性先熟であるベラ科魚の性転換における性分化関連遺伝子群の発現量の変化を明らかにした。	Horiguchi, R. Nozu, R ※Nakamura, M.
4			Sexual characteristics of sterilized tilapias	高温処理によって不妊化したティラピアの性的特徴を報告した。	※Nozu, R Pandit, N. Grau, G. Nakamura, M
5	America Elasmobranch Society 年会	2016年7月5日 ~10日	Gas diffusion model indicates that oxygen diffusion through uterine wall is insufficient to sustain dogfish embryo	沖縄美ら海水族館で飼育されている妊娠ツノザメをエコー観察し、胎仔の呼吸メカニズムについて明らかにした。	※Tomita, T. Toda, M. Cotton, C.
6	日本哺乳類学会	2016年9月23日 ~26日	南西諸島における鯨類のストランディング報告	これまで南西諸島で確認された鯨類のストランディング(漂着、座礁等)調査結果の紹介。	※岡部晴菜・小林希実・東 直人・徳武浩司・宮原弘和・内田隆三
7			沖縄海域におけるザトウクジラの出産率と出産頻度について	沖縄本島周辺海域に來遊するザトウクジラの出産率、出産頻度を明らかにするとともに、他繁殖海域と同様の傾向を示すことを報告した。	※小林希実・岡部晴菜・河津 勲・東 直人・宮原弘和・加藤秀典・内田隆三
8	第49回日本魚類学会年会	2016年9月23日 ~26日	2016年1月の大寒波に伴い打ち上げられたウナギ目魚類	2016年1月の大寒波に伴い発生した魚類の大量打ち上げを報告するとともに、その際に採集された日本初記録のウナギ目魚類を紹介した。	※日比野友亮・宮本 圭・桜井 雄・木村清志
9	第60回日本医真菌学会	2016年10月1日 ~2日	海洋博公園で飼育されている小型鯨類におけるロボミコウソンスに対する抗体保有率調査	琉球大学との共同研究にてロボミコウソンス感染症の免疫学的組織検査方法を報告した。	※植田啓一・皆川智子・山口さやか・金野俊洋・周本剛大・兼島 孝・寺嶋芳江・和田新平・佐野文子
10	the 22nd International Conference of Zoology & the 87th meeting of the Zoological Society of Japan	2016年11月15日 ~19日	Monitoring for reproductive status of aquarium-raised female zebra shark using molecular markers	沖縄美ら海水族館において飼育されている雌トラフザメの生殖状態について、いくつかの指標を使ってモニタリングした結果を報告した。	※Nozu, R. Murakumo, K. Yano, N. Matsumoto, R. Sato, K.
11	日本爬虫両棲類学会 第55回大会	2016年11月25日 ~26日	沖縄島本部半島におけるウミガメ類の産卵状況(2008-2016年)	2008~2016年の沖縄島本部半島におけるウミガメ類の産卵状況について報告した。	※深田晋悟・木野野克・河津 勲・永田俊輔・鈴木理雅・前田好美・真栄田實・若井万里子
12			沖縄海域におけるアカウミガメの体サイズ、性成熟度および性比の変化	1991-1995年と2007-2011年に定置網で混獲されたアカウミガメの体サイズ、性成熟度および性比について比較した。	※河津 勲
13	板鯨類シンポジウム2016	2016年12月3日	雌イトマキエイの生殖器官の発達と性ステロイドホルモンの関係	沖縄県近海で混獲された雌イトマキエイの生殖器官の発達度合と性ホルモンとの関係を考察した。	※野津 了・富田武照・宮本 圭・矢野 清・村瀬清美・松本理偉・松崎草平・佐藤圭一
14			ツノザメ胎仔に必要な酸素はどこから来るか?	沖縄美ら海水族館で飼育されている妊娠ツノザメをエコー観察し、胎仔の呼吸メカニズムについて明らかにした。	※富田武照・戸田 実・Cotton Charles
15			野外におけるジンベエザメの体温初記録	定置網で捕獲された野生個体と沖縄美ら海水族館飼育個体の放流に伴いロガーを装着し、野外での体温変化を記録した。周辺水温と体温の関係を熱収支モデルを用いて報告した。	※中村乙水・松本理偉・佐藤克文
16	第27回日本ウミガメ会議	2016年12月9日 ~11日	CT撮影により明らかになった保護収容されたタイマイの囊胞性肺疾患	保護収容されたタイマイの囊胞性肺疾患について、CT撮影による診断や治療経過について報告した。	※若井万里子・村瀬清美・上迫晋香・真栄田實・植田啓一・河津 勲
17			タイマイの交尾から初産卵までの卵形成過程	飼育下において交尾および産卵したタイマイ3個体において血中プロゲステロンを指標に排卵や卵形成のタイミングについて考察した。	※河津 勲・鈴木美和・木野野克・前田好美
18	平成29年度 日本水産学会春季大会	2017年3月26日 ~30日	飼育下における雌オオテンジクザメの性ホルモンの周年変化	沖縄美ら海水族館において飼育されている雌オオテンジクザメの性ホルモンの周年変動を明らかにした。	※野津 了・村瀬清美・矢野 清・松本理偉・佐藤圭一
19			ティラピアの成熟精巢の高水温による不妊化	性成熟したティラピアにおいても高温処理することで不妊化を誘導できることを明らかにした。	※加賀谷玲夢・野津 了・岡慎一郎・中村 将